

LAFIREの公開について

2004 年5 月01 日:β-バージョン1.0

2004 年5 月28 日:β-バージョン1.0(+)

2004 年6 月14 日:β-バージョン1.0(++)

2004 年6 月22 日:β-バージョン1.1

2004 年7 月09 日:β-バージョン1.2

2004 年8 月01 日:β-バージョン2.0

2004 年8 月30 日:β-バージョン2.1

2005 年1 月01 日:バージョン1.0

バージョン1.0 は以下の点で改善されています.

1. 部分構造構築にmulti-level strategy を導入したことにより, 特に末端や短いループの構築の成功率が高くなっている.
2. cis-Pro の処理を加えた.
3. メモリ不足のためのcore-dump が改善された.
4. Linux のもう一種類OS であるMandrake 用のバージョンを増加した.

2006年8月08日:バージョン2.4

バージョン2.4は主に以下の点で改善されています:

1. 側鎖(Phe, Tyr)のフィッティングを含む幾つかのバグを修正した.
2. 出力ファイルには, 最良なtorsion angleの持つPDBファイルを追加した(マニュアル4-4に参照して下さい).
3. jump=0の場合に構造の構築とフィッティングの前にrigid-body, 座標と温度因子の精密化を加えた.

2007年1月09日:バージョン2.5 (マニュアル2.4のままである)

バージョン2.5には主にバグが修正された.

2008年1月05日:バージョン2.6 (マニュアル2.6)

バージョン2.6は以下の点で改善されています.

1. リガンドの可能性のある電子密度ブロックを自動検出する機能の増加 (マニュアル4-4-3,4-6-5に参照).
2. 水分だけを拾う場合(jump=4)にも, フィッティングの増加(マニュアル4-2-7に参照).
3. CNS1.2バージョンの対応.
4. バグの修正

2009 年 1 月 05 日 :バージョン 2.61 (マニュアル 2.6)とバージョン 3.0a(マニュアル 3.0)

バージョン 2.61 は以下の点で改善されています.

1. バグの修正(SGI, Linux)

バージョン 3.0a は以下の点で改善されています.

1. グラフィカルユーザインタフェース(GUI)を加えた(Windows, Mac, Linux).
2. 核酸フィッティング機能の増加.
3. バグの修正